



「第9回 宮園小チャレンジ・コンテスト」の結果について

廿日市市立宮園小学校
校長 中谷 一志

「第9回 宮園小チャレンジ・コンテスト」(通称:チャレ・コン)には、自分から進んでチャレンジした19名の児童から18作品の応募がありました。審査結果は次のとおりです。

1 最優秀チャレンジ賞

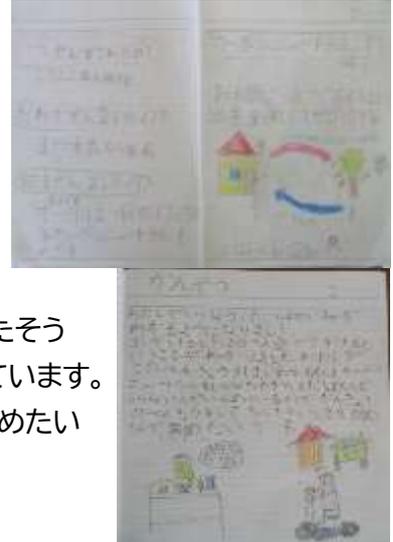
1～3年生の部

◎2年1組 濱田 佳歩 さん「ゼロカーボンシティせんげん」

《校長コメント》

「廿日市環境フェスタ 2022」に参加したときに、市長が「ゼロカーボンシティ」について話をされたのを聞いたことがきっかけで、「廿日市市ゼロカーボンシティ宣言」について調べようと思ったそうです。調べたことを、絵を入れながら分かりやすく丁寧にまとめています。

「かんきょうのべんきょうをして、ちしきやしきをみんなで高めたいです」という感想がとても印象的でした。



4～6年生の部

◎4年1組 山出 大智 君「fugue(フーガ)」

《校長コメント》

バロックの様式で曲を作りたいと思い、フーガを自ら作曲し、自分で演奏をして、その曲の楽譜と演奏しているときの動画が届きました。

山出君によると、演奏するのは難しかったけど、作曲自体は簡単だったということですが、演奏を聞いた審査員全員から「すごい」と驚きの声が上がっていました。まさにバロックという感じでした。



2 優秀チャレンジ賞

1～3年生の部

◎2年1組 松田 花渚 さん 「ぜつめつしそうなどうぶつたち」

4～6年生の部

◎5年1組 棚田 珠来里 さん「G7サミットってなあに？」

3 総評

このチャレンジ・コンテストは9回目を迎えましたが、今回も19名の児童から素敵なチャレンジ作品(共同製作を含む。)が届きました。その19名のうち、1・2年生が11名で、今回も低学年の積極的なチャレンジが目立ちました。また、今回は、山出君の演奏の動画の他にも、フラダンスの発表会の動画や百人一首を暗唱した録音等も提出され、作品の多様化を感じました。

来年度、進級しても、調べてみよう、やってみようと、チャレンジする児童が更に増えてほしいと思っています。

